

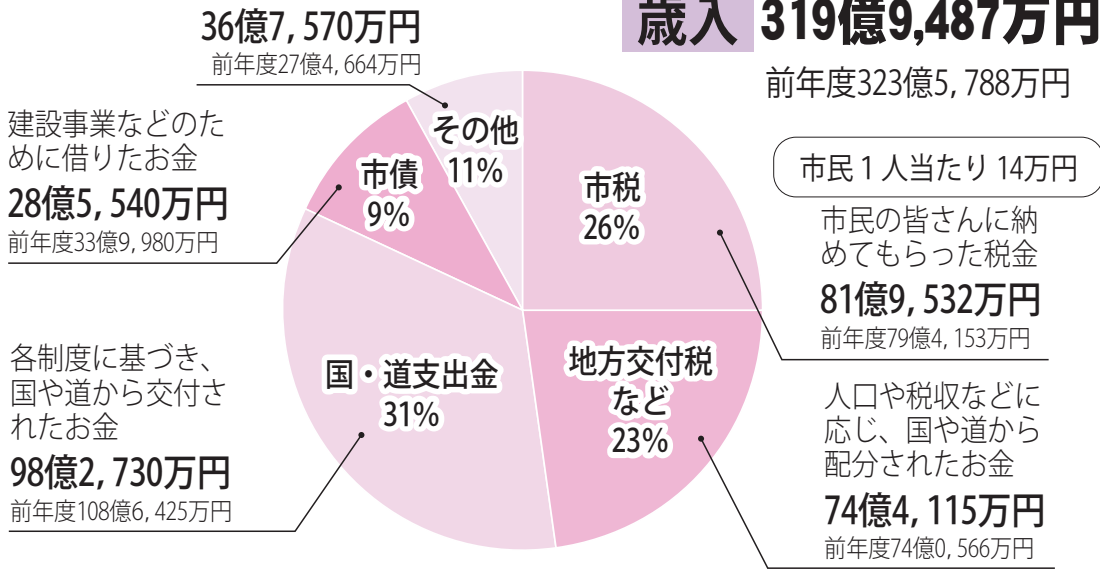
令和4年度 一般会計の決算

北広島市の財政

問合せ 財政課 (☎372-3311・内線3653)

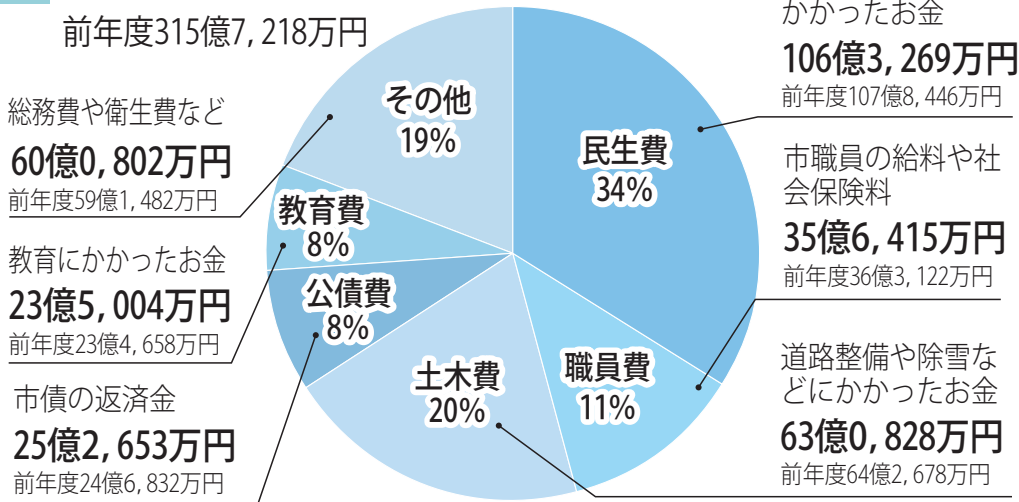
歳入 319億9,487万円

前年度323億5,788万円



歳出 313億8,971万円

前年度315億7,218万円



1万円未満は省略しています。「市民1人当たり(の金額)」は、それぞれの額を次の人口で割っています。(令和5年3月31日現在の人口5万7166人)



大曲東小学校校舎大規模改造に係る経費
3億3252万円



新型コロナウイルス感染症等対策経費
19億2837万円



ボールパーク構想に係るインフラ整備
30億5261万円

主な使い道

◆財政健全化判断比率 (数値が低いと良好)

4つの指標	北広島市	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率(一般会計などの赤字額の割合)	赤字なし	12.84%	20.00%
連結実質赤字比率(全ての会計の赤字額の割合)	赤字なし	17.84%	30.00%
実質公債費比率(借金返済額の割合)	8.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率(将来の借金返済予定額の割合)	81.0%	350.0%	

財政は良好を維持

市の財政状況は、財政健全化判断比率で示されます。4つの指標のいずれかが早期健全化基準を超えた場合などは、財政健全化計画を立てなければなりません。財政再生基準を超えた場合は、国の監督下で財政を立て直すこととなります。

公営企業の経営状況は、資金不足比率で示され、市の水道、下水道会計ともに資金不足なしとなっています。

令和4年度 特別会計の決算

特定の経費を一般のものと区別して処理する会計で、令和4年度は3つの特別会計で黒字になっています。国民健康保険と介護保険では、国の交付金などを精算し、今年度に返還する分を含んでいます。

区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	65億0,698万円	65億0,187万円	511万円
霊園	4,373万円	4,373万円	0円
介護保険	50億1,562万円	48億8,048万円	1億3,514万円
後期高齢者医療	10億4,247万円	10億3,809万円	438万円

基金 残高 49億4,839万円

市民1人当たり
約8.7万円

家計で例えると、預貯金に当たります。施設の整備資金など、将来予定している大型事業や、安定した財政運営のために積み立てています。

令和4年度は、財源不足に備えるための基金である財政調整基金などを積み立てました。

◆令和4年度決算額

名称	残高
財政調整基金	20億2,390万円
土地開発基金	6億1,099万円
まち・ひと・しごと創生基金	5億8,072万円
減債基金	3億7,929万円
学校教育振興基金	1億9,061万円
その他	11億6,288万円
合計	49億4,839万円

令和4年度 企業会計の決算

使用料収入などにより、独立採算制で運営するための会計で、水道事業会計と下水道事業会計があります。資本的収支の差し引き分は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

収益的収支…事業を運営する収支
資本的収支…施設を整備するための収支
損益勘定留保資金…減価償却費など、現金支出せず内部に留保している資金

区分	収入	支出	差引	
水道	収益的	14億4,588万円	13億4,031万円	1億0,557万円
	資本的	2億6,486万円	6億1,956万円	-3億5,470万円
下水道	収益的	22億5,519万円	20億5,845万円	1億9,674万円
	資本的	7億7,182万円	14億7,360万円	-7億0,178万円

市債 残高 404億3,219万円

市民1人当たり
約70.7万円

家計で例えると、住宅ローンなどに当たります。公共施設を整備するためなどに、市が借り入れる長期の借入金です。

令和4年度は、一般会計で新たに28億5,540万円を借り入れました。そのうち建設事業に関連する借入額は、前年度より2億6,400万円少ない25億4,970万円でした。

◆令和4年度末残高

普通会計	320億6,256万円
一般会計	320億0,230万円
霊園会計	6,026万円
公営企業	83億6,963万円
下水道	66億9,271万円
水道	16億7,218万円
駐車場	474万円
合計	404億3,219万円

令和5年度 予算の執行状況

◆予算の収入・支出状況 (9月30日現在)

区分	予算額	収入・支出済額・率	
一般会計	収入	120億2,172万円 35%	
	支出	117億3,871万円 34%	
特別会計	国民健康保険	収入	24億1,240万円 36%
		支出	25億8,241万円 39%
	霊園	収入	1,551万円 33%
		支出	1,520万円 32%
	介護保険	収入	23億5,553万円 45%
		支出	20億7,346万円 40%
後期高齢者医療	収入	4億1,046万円 37%	
	支出	3億7,101万円 34%	
企業会計	水道	収益的	収入 14億3,017万円 42%
		支出	14億0,467万円 28%
	資本的	収入	4億1,924万円 0%
		支出	8億2,141万円 31%
	下水道	収益的	収入 22億7,725万円 27%
		支出	22億1,531万円 13%
	資本的	収入	10億7,774万円 4%
		支出	17億0,893万円 14%

保育所などの整備、乳幼児健診の拡充などの子ども・子育て支援体制の充実や自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）、ゼロカーボンの推進などを重点施策として編成しました。

■一般会計の補正額は、13億4,755万円

- プレミアム付商品券の発行・販売に要する経費
- マイナンバーカード普及促進に係る経費 など

■特別会計の補正額は、1億4,324万円

- 国民健康保険・介護保険…事業費確定に伴い前年度に交付された国庫支出金や道支出金の返還など
- 後期高齢者医療…後期高齢者医療広域連合納付金

◆市税の収納状況 (9月30日現在)

区分	予算額	収入済額・率	
一般会計	市民税	個人	25億1,370万円 9億5,854万円 38%
		法人	6億2,650万円 3億6,338万円 58%
	固定資産税	37億5,100万円 24億1,927万円 65%	
	その他	12億6,015万円 7億3,550万円 58%	
	合計	81億5,135万円 44億7,669万円 55%	
特別会計・国民健康保険税	8億9,741万円	3億4,213万円 38%	